

ご意見の概要及び回答（平城宮跡区域）

	ご意見の分類	いただいたご意見の要旨	いただいたご意見に対する回答
1. 公園整備の基本方針及び公園計画の概要	1-1. 事業計画の周知について	<p>○国営公園の整備計画が平城宮跡の来訪者によくわかるよう、朱雀門、大極殿、佐伯門跡あたりに大きなパネルで計画概要、復原後の情景を紹介してはどうか。</p> <p>○大極殿院復原の情報館の存在をもっと周知してはどうか。</p> <p>○せっかく税金を使っているのだから、広報にも力を入れるべきではないか。</p>	<p>本公園の整備にあたっては、事業の経緯等についてのホームページでの公表や関係機関や地元自治会等への説明など継続的な周知を行って来ました。今後は、第1期開園や第一次大極殿院南門の復原工事を行う機会や、新たに整備される平城宮跡展示館等を活用し、より多くの方に周知されるよう努めて参ります。</p>
	1-2. 古都奈良の景観について	<p>○発掘調査による新しい見解を踏まえ、現状の施設の学問的誤りを是正すべき。奈文研（文化庁）と相談して取り組んでほしい。推定宮内省や兵部省、式部省も狭すぎる。小さな柱だけが並んでいる景色も過去を想像するには貧相で程遠く中途半端で良くない。</p> <p>○第一次大極殿も復元され、今後の整備により、さらに素晴らしい公園になるものと思う。しかし、朱雀門と大極殿院との間に設置された加工・原寸場と資材保管庫は折角の世界を壊している。</p>	<p>建物等復原や遺構表示等については、あらたに発掘成果が得られた場合を含め、その活用、効果を検討、吟味した上で、十分な調査研究に基づき実施して参ります。なお、推定宮内省や兵部省、式部省等、国土交通省以外の機関が設置・管理する遺構表示等の施設があり、これらに対するご意見については関係機関とも共有を図って参ります。</p> <p>加工・原寸場と資材保管庫は、第一次大極殿院の建造物復原で木材の加工等を行う場として設置が必要となるものですが、これらの施設を活用した復原工事の現場公開も実施し、設置について皆様のご理解が得られるよう努めて参ります。</p>
	1-3. 世界遺産・特別史跡としての平城宮跡のあり方について	<p>○復原はもうこれぐらいでよい。草原として残して、あとは各人がイメージできる空間として残してほしい。</p> <p>○現在のままでよい（保安・保全は必要）。仕事帰りに電車からみるとホッとする（心身のつかれがなごむ）。</p>	<p>平城宮跡歴史公園は、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間を創出する」ことを基本理念とし、基本計画においてゾーニングを設定しています。緑地ゾーンは歴史資産の保全活用と併せて景観や自然的環境の保全、レクリエーション利用など多様な機能との調和を図る空間として位置付け、適切な管理のもとで自然的環境の保全に努め、平城宮跡全体での調和の取れた整備を進めることとしており、引き続き、現状と同様の空間として残して参ります。</p>
	1-4. 鉄道の移設等について	<p>○近鉄電車のルート変更には絶対反対。現状維持をしてほしい。国営公園を電車の中から見られることはすばらしいことである。</p> <p>○近鉄をどうするのか。早く計画を打ち立てて欲しい。世界遺産を横切るくらいなら、地下に埋設してもいいのではないか。</p> <p>○近鉄西大寺駅の立体化と駅周辺の整備。</p> <p>○リニアの駅を作らないこと。リニアなんて高コストで不便だけ。東京からの集客など考えるな。奈良の街が観光地になってしまう。</p>	<p>公園の基本計画では、平城宮跡内を横断する鉄道などについては、遺構の復原、景観の保全、来園者の安全確保等の観点から、移転・移設することが位置付けられていますが、移転・移設が長期化することも考えられることから、整備の途中段階でも本公園が担うべき機能を可能な限り発揮できるものとするため段階的に整備を進めることとしています。</p> <p>近鉄奈良線の取扱いについて、さまざまなご意見があることは認識しておりますが、公園利用を南北に分断してしまうことや歴史的景観への支障、また市内の渋滞対策といった観点から、移設先や移設方法について奈良県を中心に検討を進めているところです。検討にあたっては、今後とも地下遺構への影響や事業費、まちづくりとの連携などの課題を踏まえつつ、幅広い観点から取りくみ、これらの整備については、公園事業と調整を取りながら、奈良県等が中心となって進めてまいります。</p>
2. 主な整備内容及び整備の重点方針	2-1. 復原事業情報館の展示について	<p>○情報館の展示内容は開館以来、新しい内容がない。大極殿院の復原について、西側基壇が何故つくられないかの説明もない。南門の復原でも、時宜を得た展示をしないと、建てた意味が薄れる。</p>	<p>復原事業情報館は、第一次大極殿院南門の復原工事の現場公開においても活用する予定であり、時々工事の状況をわかりやすく発信するための活用方法について、今後検討して参ります。</p>
	2-2. トイレの整備について	<p>○現在は仮のトイレであろうが、今後、バス等団体来園者のために、特に女性用トイレを充分増やしてほしい。</p>	<p>第1期開園後では、大型バスが利用可能な駐車場が設置される朱雀門南側（特別史跡区域外）の拠点ゾーンでバス等団体来園者の利用が多くなるものと考えており、当該エリアにある平城宮跡展示館内や奈良県整備区域において、女性用も含めて十分な数のトイレを</p>

			設置する計画です。
	2-3. 案内板・解説板の整備について	<p>○第一次大極院殿跡だけでなく、第一次朝堂院、内裏、第二次大極院殿・第二次朝堂院、朝集殿院跡など素晴らしい遺構が残されており、「往時の歴史・文化を体感・体験できる」よう、現地の解説板や案内ソフト(「なら平城京歴史ぶらり」等)の充実も進めて欲しい。</p> <p>○道案内が非常に少ない。</p> <p>○公園へ来る人(車)が判りやすい案内板等を必ず設けること。</p>	平城宮跡はこれまで文化庁により整備が進められてきましたが、文化庁をはじめ関係機関とも連携・協力しながら、案内や遺構表示等の解説板について、従来のデザインを踏襲しながら、整備に併せ順次、更新や新設を行い、よりわかりやすいものとする計画です。
	2-4. 園路について	○かんぼの宿から自転車で平城京跡を横断する時、歩行者とぶつかりそうになったり、原付が走っていて危ないので改善してほしい。歩道と自転車道を分離するなどしてほしい。	平城宮跡内には国営公園事業の着手以前より利用されていた未舗装の道がまだ多く存在している状況です。国営公園を段階的に整備するにあたっては、誰もが快適に利用することができる園路となるよう、検討してまいります。
	2-5. 植栽について	<p>○平城宮跡の樹木は奈良時代の樹形になっていない。樹木は自然の美しさを生かした管理を重視すること。自然樹形がふさわしい。奈良時代に剪定はなかったはずである。</p> <p>○朱雀門南エリアの、道路に面しているところに緑陰を作る街路樹がないので、駐車場の樹木を、樹冠まで伸ばし大きな緑陰を作るようにする。</p> <p>○万葉集にも歌われているように、奈良時代は梅や桃の木の下で遊んでいたが、現状の梅林では木の下に入れない。計画的に樹形を改善すべきである。</p> <p>○森林浴ができる場所を計画的に作ってほしい。</p> <p>○復原事業情報館の東側と西側南北(250m、2列)に大きくなる樹(ケヤキ等)を植えてほしい。</p> <p>○国道24号バイパスの高架や建物などが雰囲気を壊しているため、東院庭園南側柵沿いに樹木を植えて目隠しをしてほしい。</p> <p>○大きくなる木を植えることで、地下の木簡への影響は考えにくい。</p>	公園基本計画において、植栽は眺望の確保や平城宮跡にふさわしい景観づくりを第一とし、併せ緑陰を設けるなど公園利用の快適性を実現するため、配置や密度に配慮した植栽を行うとともに、遺構面の高さを踏まえてそれが保護されることを前提として、植栽の機能確保が可能となるよう適正な管理を行うこととしています。
3. 管理運営の重点方針	3-1. 利用プログラム・イベントの実施について	<p>○タコあげ大会や空を使った気球イベントを見たい。</p> <p>○生ライブ、生演芸、産直市場等を実施し、一年中何かやっていると思わせることが必要。個人的には大立山イベントは良くないと思う。</p> <p>○東区の朝堂院跡の東を模型飛行機が飛ばせるところに、朝集殿院跡東にラジコンなど模型の自動車などで競技ができ遊べる場所にしてはどうか。</p> <p>広い場所の活用として、全国的な競技会(将来的には世界大会に持って行く)を企画し(平城宮跡規則を作る)、実施するなど考えてはどうか。</p> <p>○観光客だけでなく地元住民にも開かれた公園にするため、緑地ゾーンを利用した定期的なイベントの開催や季節に応じた花などを植える等を行ってほしい。</p> <p>○韓国ソウルの宮殿跡のように、一日に数回、当時のセレモニーを再現したイベントがあるとよい。大学生のアルバイトなどを活用してはどうか(インターシップ)。当時の雰囲気が体感できるものがあれば、また行きたい。</p> <p>○平城宮跡の復原計画、季節に併せた催事(古式に合わせて)、季節に合わせた花木、周辺の社寺の催事等をマトリックスにして計画を立案していかないと根</p>	公園基本計画においては、イベントや利用プログラムとして、往時の歴史・文化を楽しむながら知ることができるよう、また、平城宮跡の知名度を向上させ、来訪のきっかけづくりや新たな魅力発見の機会など、多種多様なプログラムを企画・実施していくことが位置づけられています。
			いただいたご意見については、関係者間で検討を進める中で、国営公園として開園後の行催事企画検討の際の参考にさせていただきます。

		<p>づかないと思う。</p> <p>○この整備プログラムによって着実に平城宮の姿が復元されていくのはすばらしいと思う。宮殿のハード面の復元に加えて、ソフト面、歴史・文化的な取り組みの充実を希望する。</p> <p>例えば、天平文化の発信地として、平城宮跡をもっと活用してはどうか。①正倉院展を宮跡（第一次大極殿）で開催、②東大寺等の関係諸寺との連携（法要・行事）、③新公務員の研修の場（律令国家の立ち上げの苦難を学ぶ）、等。</p>	
	3-2. 快適性・利便性の高い空間の確保について	<p>○ボランティアだけで清掃作業をやっているため、きれいにならない。業者等を使ってはどうか。</p> <p>○1人でも多く来て頂けるよう来場者の目線で設備等を考えてほしい。</p> <p>○来園者にとっての快適性は、現状は至って不十分である。飲食店を希望。適正な価格ですること。できればファストフード、居酒屋レベルの価格帯で。</p> <p>○資料館はわかりやすく、見やすく、行ってよかった。外国人には天井が低すぎるように思う。ボランティアガイドさんの説明がとてもわかりやすかった。</p>	<p>第1期開園後の区域内においては、国営公園運営維持管理業務受託者が、清掃等も含めた包括的な維持管理を行い、歩きやすい園路や広場、快適な休憩所の維持等を通じて来園者にとって快適性の高い空間を確保します。飲食施設については、朱雀門南側（特別史跡区域外）の拠点ゾーンの奈良県整備区域において、飲食・物販施設等が計画されています。</p> <p>なお、平城宮跡資料館等の、平城宮跡内で国土交通省以外の機関が設置・管理する施設に対するご意見については、関係機関とも共有を図って参ります。</p>
	3-3. 自然的環境の保全とみどりの適切な維持管理について	<p>○緑地ゾーンの現状に手を入れ、おかしな建物やモニュメントを作らないこと。</p> <p>○秋は広い平城宮跡ススキが美しいので生かし、セイタカアワダチソウは駆逐する。</p>	<p>緑地ゾーンは、歴史資産の保全活用と併せて景観や自然的環境の保全、レクリエーション利用など多様な機能との調和を図る空間として位置付け、適切な管理のもとで自然的環境の保全に努め、平城宮跡全体での調和の取れた整備を進めることとしています。</p>
4. その他	4-1. I T技術の活用について	<p>○若い人でも学べるようにAR技術を利用したガイド・解説をスマホで出来るように。外人にも便利なはずだし人件費もいらない。</p>	<p>本公園の飛鳥区域において、VR技術を使って歴史的・文化的資産を可視化する解説を行っており、大変好評を得ています。平城宮跡区域においても、今後、様々な技術を用いたガイド・解説手法についても検討して参ります。</p>
	4-2. 平城宮跡へのアクセス・駐車場について	<p>○来場者の車駐車場は何処へ設けるのか。広さ等を明確にしてほしい。</p> <p>○朱雀門北西に広い無料の駐車場が廃止された。グルッとバスは原則的に休日のみで、アクセスを考えて頂きたい。</p> <p>○市内循環バスの拡充を期待。ルートは西の京へも向ってほしい。</p>	<p>朱雀門南側（特別史跡区域外）の拠点ゾーンの奈良県整備区域において駐車場が整備される予定であり、台数は普通車50台、大型バス20台と聞いております。</p> <p>なお、公共交通で来園しやすいよう、関係機関と協力し、路線バス等使いやすいアクセスを確保できるよう努めて参ります。</p>
	4-3. ペットの入園について	<p>○あちらこちらに犬の糞が置き去りにされているのを見かける。平城宮跡の中は犬（ペット）等の散歩禁止にしたらどうか。</p>	<p>平城宮跡では、市街地に囲まれた広大なオープンスペースとして、地域住民の日常的な多目的利用の場として幅広く活用されてきたことから、今後には犬等の散歩を禁止することは難しいと考えておりますが、特別史跡・世界遺産である歴史・文化資産としての適切な保存・活用のため、第1期開園後は、ペットの散歩等の利用をされる方々に一層のマナーの啓発や利用指導も含めた管理に努めてまいります。</p>
	4-4. 遊器具の設置について	<p>○ブランコ、すべり台、ジャングルジム等で、なるべく木材を使用した遊器具を設置してくれたら、もっとたくさん子ども達が親しんでくれるのではないかと。</p>	<p>本公園では、歴史公園という性格上、遊具施設を設置する計画はありませんが、子ども達にも楽しんで頂けるような歴史プログラムや昔遊び、自然素材を使ったクラフトなどの計画を進めており、子育て世代の方々をはじめとした多様なニーズにお応えできるよう努めてまいります。</p>
	4-5. さらなる復原について	<p>○馬寮を復原し、馬10頭を飼育してほしい。</p> <p>玉手門と近鉄線路の間の馬寮跡に復原し、飼育の馬は、平城宮跡内を毎日の巡視（奈良時代の服装）に使用し、今後の催しにも馬を活用する。</p> <p>○最終的に朱雀大路をこの幅で延伸して羅生門を作ってほしい。大宮通から南は</p>	<p>平城宮跡歴史公園は、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間を創出する」ことを基本理念とし、基本計画においてゾーニングを設定しています。</p> <p>第一次大極殿院や、朱雀門、第二次大極殿院、東院庭園等の建物等復原や遺構表示等の</p>

		車も通したらいいし、何ならこの辺りに近鉄の平城宮駅を作ればいい。	行われている特別史跡区域の中枢部を「シンボルゾーン」として位置づけ、復原された建物等を中心とする歴史資産を最大限に活用した空間づくりを行うこととしております。なお、馬寮については復原の計画はありませんが、奈良時代を体験・体感できる展示や催し等を企画してまいります。
	4-6. 官学共同について	○奈良教育大や奈良女子大と官学共同して平城宮跡を良くしてほしい。	国営公園の適切な整備・管理運営にあたっては、特別史跡である平城宮跡の特性や多様な利用状況から、各分野の有識者や研究機関等との協力・連携が有効となる場合が考えられ、その時々課題に応じて適切に対応してまいります。
	4-7. バリアフリーについて	○高齢化を考えるとバリアフリーは必要。	国営公園として整備することが閣議決定される以前より設置されている園路について、段差を生じている箇所へのバリアフリー化などの機能向上を行うとともに、トイレや休憩所などについても高齢者など様々な来園者が快適に過ごせる整備を進めます。
	4-8. 入園料について	○維持管理のため、入園料を取ってもよい。すばらしく整備されており、「税金」よりも「入園料」が適切だと思う。	平城宮跡では、市街地に囲まれた広大なオープンスペースとして、地域住民の日常的な多目的利用の場として幅広く活用されており、通勤・通学による通過利用も多いことから、第1期開園後も原則として公園区域への入園料はとらないものと考えております。